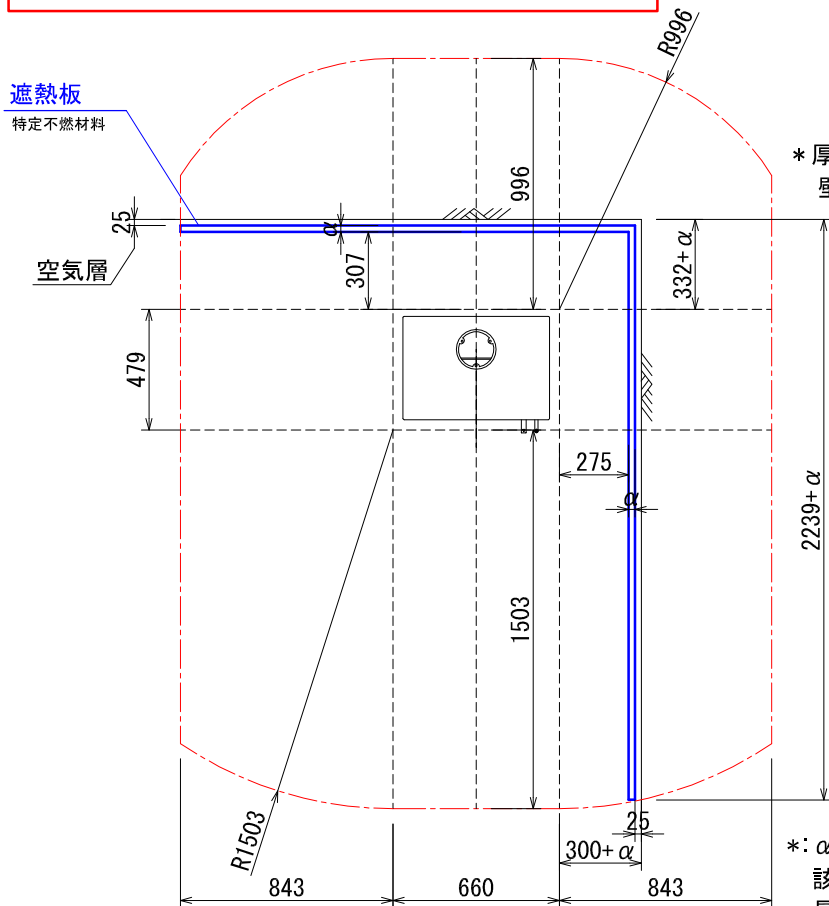
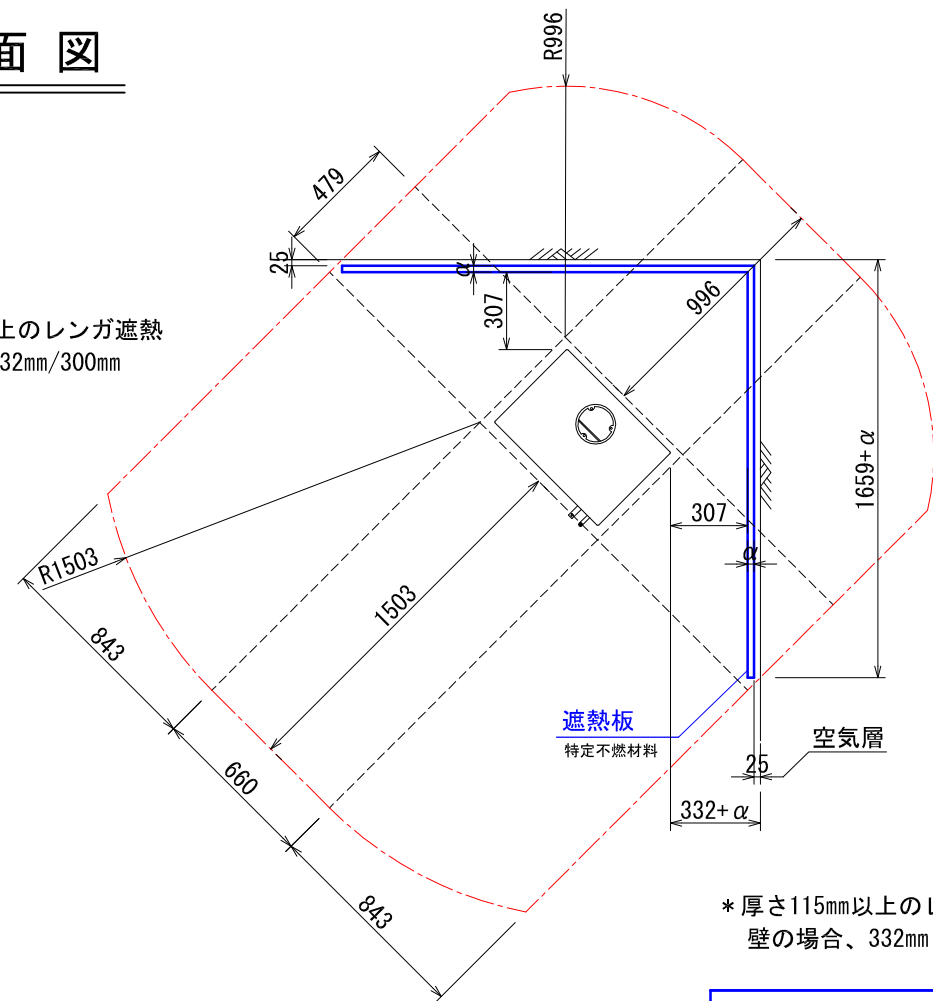


# 平面図

**\*ストーブ等可燃物燃焼部分**  
 ストーブの輻射熱・対流熱により燃焼する可能性のある範囲を表す。



\* 厚さ115mm以上のレンガ遮熱壁の場合、332mm/300mm



\* 厚さ115mm以上のレンガ遮熱壁の場合、332mm

\*: αは厚さ115mm以上のレンガ以外の不燃材遮熱壁の厚みを差します。  
 該当するレンガを使用した場合、離隔距離+25mmが内装壁面までの最少距離となります。

ストーブ等可燃物燃焼部分の壁及び天井の室内に面する部分に対する火熱（輻射熱・対流熱）の影響が有効に遮熱遮断されている場合、室全体における壁・天井の内装仕上げについては、難燃材料又は木材等で仕上げる事が出来ます。

RAIS:Q-TEE2クラック US 内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱寸法と離隔距離一覧

A v		A h			H s
側面	正面	側面	正面	背面	
281,060mm <sup>2</sup>	392,288mm <sup>2</sup>	316,140mm <sup>2</sup>	843mm	1503mm	996mm
					1181mm

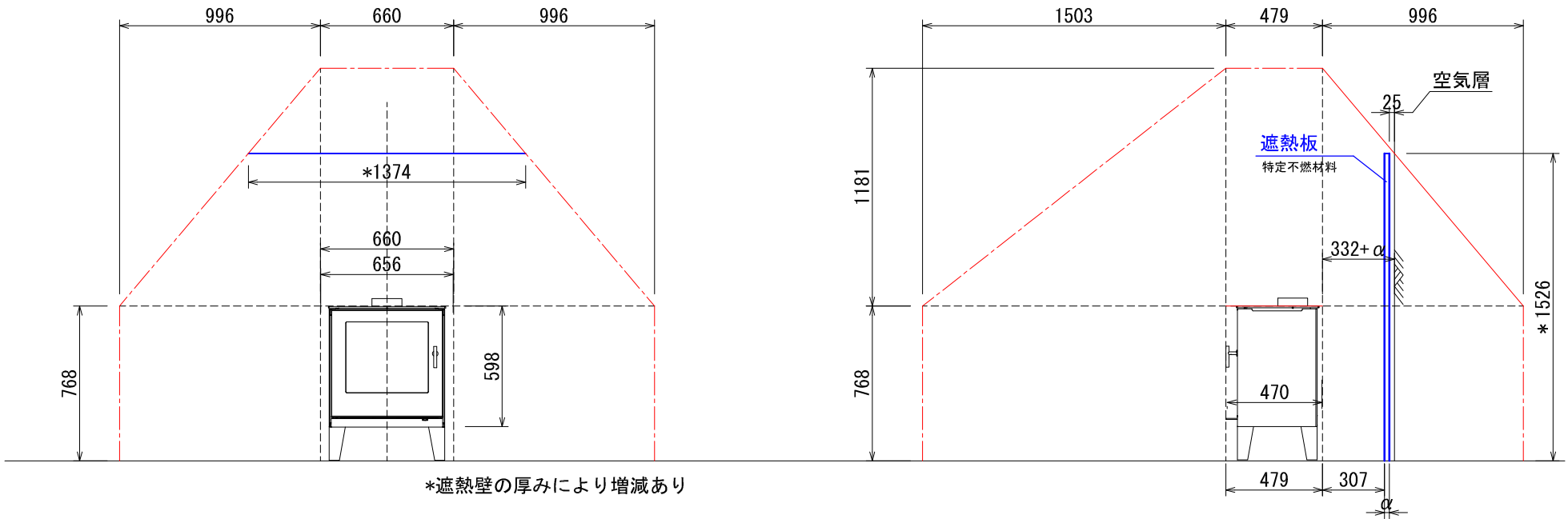
Av=ストーブ 鉛直投影面積    Ah=ストーブ 水平投影面積    Ls=ストーブ 等可燃物燃焼水平距離    Hs=ストーブ 等可燃物燃焼垂直距離  
 Ds=ストーブ 等可燃物燃焼基準距離

図面名	Q-TEE2クラック US 内装制限告示内容に基づく設置図面
縮尺	1/30
ダッチウエストジャパン株式会社	

# 側面図

## \*ストーブ等可燃物燃焼部分

ストーブの輻射熱・対流熱により燃焼する可能性のある範囲を表す。



\*遮熱壁の厚みにより増減あり

\*遮熱壁の厚みにより増減あり

\*:  $\alpha$  は厚さ115mm以上のレンガ以外の不燃材遮熱壁の厚みを差します。  
該当するレンガを使用した場合、離隔距離+25mmが内装壁面までの最少距離となります。

ストーブ等可燃物燃焼部分の壁及び天井の室内に面する部分に対する火熱（輻射熱・対流熱）の影響が有効に遮熱遮断されている場合、室全体における壁・天井の内装仕上げについては、難燃材料又は木材等で仕上げる事が出来ます。

## RAIS:Q-TEE2クラシック US 内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱寸法と離隔距離一覧

A <sub>v</sub>		A <sub>h</sub>	H <sub>s</sub>		
側面	正面		側面	正面	背面
281,060mm <sup>2</sup>	392,288mm <sup>2</sup>	316,140mm <sup>2</sup>	843mm	1503mm	996mm
					1181mm

Av=ストーブ鉛直投影面積 Ah=ストーブ水平投影面積 Ls=ストーブ等可燃物燃焼水平距離 Hs=ストーブ等可燃物燃焼垂直距離  
Ds=ストーブ等可燃物燃焼基準距離

図面名	Q-TEE2クラシック US 内装制限告示内容に基づく設置図面
縮尺	1/30
ダッチウエストジャパン株式会社	